



ひよこだより 3月号

平成 29 年 3 月 10 日(金)

園庭をとつと走る子どもたちや、遊具のまわりで伝い歩きをするひよこぐみの子どもたちに明るい日差しとやさしい風が春の暖かさを届けてくれます。

花壇の黒い土からも、緑のチューリップの芽が伸びて来て、子どもたちが「ア・ア！」と指さし、不思議そうな顔をしていました。まわりの変化に好奇心いっぱいです。

チューリップの芽と共に、心身ともにぐんぐんのびている子どもたちの育ちに、生命のすこやかな育ちを感じます。



新しいお友だちの紹介



K・Mくん



M・Rさん



H・Dくん

たくさん遊ぼうね

おしつこでるよ

尿意を教えてくれる子どもたちが増えました。オマルに座って「でた」と自信に満ちた笑顔を見せてくれます。ズボンを自分ではこうと意欲的に片足ずつ、ゆっくりと練習中です。子どもたちが着脱しやすい洋服をよろしくお願いします。

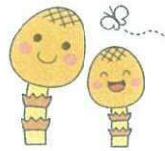
今年度も残りわずかになりました。成長の著しい大切なこの時期を子どもたちと一緒に過ごさせていただいた事をとても嬉しく思います。

至らぬ面も数多くあったと思いますが、たくさんのご理解、ご協力、心から感謝いたします。残りの一ヶ月、一人ひとりの育ちを大切に支えながら、進級へと繋げていきたいと思います。

ひよこ組担任・・・福岡、中村(亜)、桑原



すみれぐみだより



平成29年3月10日(金) 発行

園庭のさくらんぼの木のつぼみも膨らみ春の訪れを感じる頃となりました。

今年度も残り1か月を切り、4月から心も身体も大きく成長した子どもたちです。

3月の後半は来年度に向け時々2歳児クラス、ちゅうりっぷ組の部屋で移行保育の時間をとっています。進級する保育室に少しづつ慣れ、大きくなるんだという期待を大切にしたいと思っています。

ひなまつり

ひなまつりの日、遊戯室へ雛人形を見に行きました。雛人形を前にした子どもたちは『うれしいひなまつり』を歌ったり、「これ、お雛様よね。」「大きいね。」など友だち同士で話したりしていました。また、5歳児クラスの子どもたちが踊りを見せてくれました。すみれ組の子どもたちは踊りが始まると目を輝かせ、歌に合わせて身体を揺らしながら見ていましたよ。



*わらべうたの紹介

♪ねーすみ ねーすみ どーこいきや
わがすへ ちゅーちゅくちゅ
ねーすみ ねーすみ どーこいきや
わがすへ とびこんだー
くすぐり遊びです。歌に合わせて子どもの腕を2本の指ではわせます。最後の「とんびこんだー」で脇の下をくすぐります。子どもたちは保育士の指が腕をはい始めると、こちょこちょとくすぐられるのを楽しみにニッコリ笑いながら保育士の顔を見ていています。右手が終わると左手、足と全身で楽しんでいます。



最後に…

一年間、すみれ組の子どもたちと一緒に過ごし、保護者の皆様と成長を喜び会うことが出来たことを嬉しく思います。これからも子どもたちの成長と一緒に見守っていけたらと思います。保護者の皆様には、色々とご協力して頂きました。ありがとうございました。



1歳児担任 唐木・井上・草場

ちゅうりっぷだより



H29.3.10 (金)

冬山から里にうぐいすが飛んできて「ホーホケキョ」と春の訪れを告げています。園庭ではさくらんぼの木の花が開き始め、陽だまりでは元気に遊ぶ子どもたちの声が聞こえるようになりました。童謡「春よこい」の一節♪おんもへ出たいと待っている♪ちゅうりっぷ組の子どもたちの瞳は窓の外を眺めては春のお外に出たいとウズウズしています。



‘一つの輪’

朝クラスで♪せんせいとおともだち♪の曲が流れるとき、子どもたち15人の大きな輪が出来るようになりました。2つの輪になったり手つなぎを嫌がったりしてバラバラだったのですが、今では子どもたちだけで輪がつくれるようになりました。そして、保育士が♪ひらいたひらいなんの花がひらいた♪と歌い始めると、子どもたちも一緒に歌い始め大きな輪から小さな輪になったりして、みんなの心と身体が集まる時間です。



* 今日の絵本 *

ある日、わにわにが工作をしていると、ハサミで指の先をほんの少し切ってしまいました。わにわにはあわてて薬を塗り、包帯をぐるぐる巻きます。

「だいじょうぶかな？」もっともっと巻きます。
ぐるぐるぐるぐるぐるぐる。「よーしよし」見事な包帯姿に満足して、わにわにはまた工作にとりかかるというお話です。
子どもたちが、はさみやのりを使う時にこの絵本を思いだすようで、「わにわにもはさみやのり使ってたよね」と話しがはずみます。「おててを切らないように・・」と言いながらはさみを使う子どもたちです。



～おしらせ～

・3月18日(土)は卒園式です。在園児を代表して4歳児の子どもたちが式に参加します。

・21日(火)から、移行保育が始まります。ちゅうりっぷ組は2階から1階へと部屋が変わります。環境の変化から不安や戸惑いを少なくしていくように職員間で話し合い連携し、子どもたちの気持ちの安定を支えていきたいと思います。



ちゅうりっぷ組・崎野、河内



「うれしいひなまつり」

2月の中旬にひな人形を飾りました。子どもたちは「おひなさま、かわいいねえ。」「これは何?」と人形や道具のことを見ていました。すると何日かしてお内裏様とお雛雅がマフラーと上着を着ていました。そのことに気付いた子どもたちは遊戯室へ駆け寄り、「さっきはなかったよねえ。」「誰がしたん?」「もしかしておひなさま、風邪ひいとんやないん?」と思い思いに話していました。そして3月3日のひなまつり会のときにお内裏様とお雛様が元気になるようにみんなで何かしようということになりました。「うーん。何したら元気になるかねえ?」と子どもたち。みんなで考えているとRちゃんに「おひなさまって名前、何?」と聞かれました。そういえば名前がないということになり、みんなで名前をつけました。お内裏様はかっこいいから“けんとくん”。お雛様はかわいいから“ももちゃん”と子どもたちが決めました。おりがみの得意なKくんがちゅうりっぷを折り、名前を書いてお内裏様とお雛様の横に飾りました。みんなで「はる」の歌もうたい、楽しいひなまつり会でした。保育室に戻ると「おだいりさまとおひなさま、元気になるかねえ?」「早く元気にならいいのにねえ。」と子どもたちが心配そうに話していましたが、お昼寝から起きて保育室に戻るとちゅうりっぷとスイートピーの花束がありました。「誰が置いたん?」「先生?」と聞かれたので「違うよ。誰だろうねえ。」と答えると「あ、もしかしておひなさまが持ってきたんじゃない?」「そうかもしれんねえ。」「ちょっと見に行ってみよう!!」と遊戯室へ走って行った子どもたち。見てみると「あ、マフラーしてない!!」「風邪治ったんやない?」「あ、ひなあられとお酒も少なくなっとる。みんなで食べたんかねえ?」と保育士の秘めたしかけに子どもたちの想像の豊かさが膨らんで夢いっぱいのひなまつりでした。



「もうすぐひまわり」

もうすぐひまわり組になることが楽しみな様子の子どもたちです。するとKくんが「先生たちも、もうすぐひまわりさんやね!!」と笑顔で言いました。私たち保育士もクラスの一員として思ってくれているのだなあとうれしく思いました。



「レストラン」

先日、5歳児の子どもたちが卒園食事会でホテルのレストランに食事に行きました。5歳児のお兄ちゃん、お姉ちゃんがレストランに行くということで“いいなあ。僕も(私も)行きたい”と話していました。その思いを汲んで保育士がランチルームのテーブルの配置を換えてテーブルに花を飾ると「わあ、レストランみたい!」と喜んで食事を楽しんでいた子どもたちです。



3歳児クラスになり、金比羅登山や皿倉登山など初めての挑戦が多くたのですが、子どもたちは自分の力を出して乗り切ることができました。様々なことを体験して、心も体も強くなり、人を思いやるやさしい気持ちも育ってきているなあと感じています。この一年間、子どもたちの育ちの成長と共に過ごしてきました。みなさまのご協力をいただき、ありがとうございました。

3歳児担任：今丸、萩尾、齊藤

ひまわりだより

平成29年3月10日(金)

「ようこそ、ひまわりショップへ」

保育参観ではたくさんの保護者に参加していただき、ありがとうございました。一年間で成長した姿や保育園での友だちとの関わりをみていただけたのではないかとおもいます。

廃材や紙などを使って製作をする事が大好きなこどもたち。お店屋さんを開くと決まったときも「どんなお店がいいかな~」「いろんなお菓子をつくったらどうかな?」とこどもたちのアイディアがたくさん出ました。初めの頃は、何をどう使って作ればいいのか悩んでいた子どもたち、少しずつ友だちとアイディアをだし合い、年長さんが普段作っている物を参考にしたりと自分なりに考えていました。作る事に夢中になり、時間もわざれるくらい熱心に取り組んでおり、まるで職人になっているように見られました。作ったものをならべると発想力の豊かなこどもたちらしいしなあと思うものが出来ており、とてもたのしいひまわりショップが完成していました。

今は、卒園するたんぽぽ組にも「ひまわりショップに招待したい」ということでいろいろなアイディアを出し合い、新しい品物をつくっている子どもたちです。



「お別れ会」

3月13日(月)に年長児とのお別れ会をします。どんなお別れ会にしようかと、皆で考えました。「年長さんにどうしたらありがとうがつたえられるかな」「一緒に思い出をつくりたいな」といろいろ考え、ひまわりレストランに招待することにしました。年長さんに一人ひとりに思いを込めておにぎりをにぎり、プレゼントをします。おにぎりの中に入れる食材を考えながら「喜んでもらえたらいいな」と子どもたちの会話が弾んでいます。

4歳児担任：木山、有菌



たんぽぽだより

発行：平成29年3月10日（金）

長い冬が終わり、再び春がやってきました。たんぽぽ組へ進級してから1年。子どもたちは小学校入学への期待でいっぱいです。この1年間、みんなで一緒に笑い合ったり、悩んだり、時には友だちと思いがぶつかることもありましたが、譲り合い、みんなで助け合う姿に、子どもたちの心の成長を感じました。元気いっぱい28名のたんぽぽ組。いつもかわいい笑顔に囲まれ、楽しく過ごすことができました。保護者の皆様には、いろいろご協力いただき本当にありがとうございました。



おじいちゃん、おばあちゃん“またね！”

やすらぎ荘のひなまつり会で“うれしいひなまつり”を踊りました。「やすらぎ荘で踊るのもこれで最後だね」「おじいちゃんたち喜んでくれるかな」と話していた子どもたち。「かわいいねえ」「とっても上手だわ」と一緒に歌を口ずさんだり、涙を流して喜んでくださったおじいちゃん、おばあちゃんを見て、「喜んでくれてよかったです」「おじいちゃんたちの前で踊れなくなる寂しいな」とそれぞれがいろいろな思いを感じていました。お部屋から出る前「またね！」とおばあちゃんと強く手を握り合う姿に、通い合う気持ちを感じました。この一年間の、地域との交流は子どもたちにとってもかけがえのないものになったのではないかと思います。



待ちに待った卒園食事会！

3歳以上児になり、ランチルームでお食事をしてきました。3年間の総仕上げとして、レストランへお食事に行きました。

食事会の日を楽しみにしていた子どもたち。当日の朝は、「どんなごちそうかな」「ホテルのレストランなんて初めて」「良い景色のところかな」と期待を膨らませ、食事会の話題で持ちきりでした。ホテルに着くと「何だかどきどきしてきた」と緊張した表情でしたが、13階のレストランから見える景色や豪華な食事に、「緊張するけど、こんなにおいしいお食事初めて」とお腹も胸もいっぱいになった様子でした。他のお客様もいる中どんな振る舞いをしたら良いのか考え、ナフキンやフォーク、ナイフの使い方などマナーを経験する良い機会になったのではないかと思います。卒園を目前に控えた子どもたちにとって、楽しい食事会になったようです。

